この教材見本は、実際の1カ月分の教材よりも回数・ページ数が少ないダイジェスト版です。

※実際の教材の1カ月あたりの学習量は、1回30分×8回です。この教材見本は1カ月分の一部を抜粋して掲載しています。 下記の黒字が今回の掲載回です。

※テキストスタイル、進学クラス・特進クラス共通の教材見本です。

不定詞

- 1 要点学習 要点1
- 2 応用学習 英文法トレーニング1
- 3 要点学習 要点2
- 4 応用学習 英文法トレーニング 2
- 5 応用学習 読解演習1
- 6 応用学習 読解演習 2
- 7 添削問題 添削問題1
- 8 添削問題 添削問題 2

1 スピーキング



スピーキングに取り組むに当たって

- ●スピーキングでは、毎回のテーマに沿って、日常的なやりとりや発表で使われる表現を学習していきます。
- ●ここではルールを頭で覚えることではなく、「表現に慣れる」ことが目的です。
- ●まだ学習していない文法事項や知らない単語・表現が登場することもありますが、 まずは聞いて声に出して練習してみましょう。

過去のできごとについて話すことができる

過去のできごとについて詳しくたずねるときの表現を学びましょう。

Listen!

音声の聞き方は 1ページ目 を見てね。 音声だけ 聞く



スクリプトを 見ながら聞く



再び音声だけ 聞く



1. まずは音声だけ聞いてみましょう。

2. スクリプトを見ながら聞き、訳を確認しましょう。

圭とエマは、エマがどのように休暇を過ごしたかについて話しています。

スクリプト

Kei : How was your Golden Week holiday?

Emma: It was great. My father took us to a hot spring in Hakone.

Kei : That's nice! Did you enjoy the hot

spring?

Emma: Well, I went to one in Iceland three years ago. At that time, everyone wore swimwear. But in Hakone.

everyone wore nothing in the bath! I was embarrassed.

Kei : Ha-ha! That's a culture shock. Was that a good experience?

Emma: Yes, it really was. I want a hot spring in my home.



圭 :ゴールデンウィークの休暇はどうだった?

エマ:素晴らしかったわ。父が私たちを箱根の温泉に連れていってくれたの。



圭 : それはいいね! 温泉は楽しかった?

エマ:そうね、3年前にアイスランドで温泉に行ったの。そのときは、みんな水 着を着ていたわ。でも箱根では、みんなお風呂の中で何も身に着けていな かったのよ! 恥ずかしかったわ。

圭 : はは! それはカルチャーショックだね。よい経験だった?

エマ:うん、本当にそうだった。自宅に温泉が欲しいわ。

3. 再び音声を聞きましょう。

Check!

音声を聞いて 繰り返す



解説を読む



対話文に出てきた重要表現を聞き、そのあとに続けて発音してみましょう。

How was your Golden Week holiday?

(あなたのゴールデンウィークの休暇はどうでしたか。)

Did you enjoy the hot spring?

(あなたは温泉を楽しみましたか。)

I went to one in Iceland three years ago.

(私は3年前に、アイスランドでそれ (=温泉) に行きました。)

Everyone wore nothing in the bath.

(みんなお風呂の中で何も身に着けていませんでした。)

Was that a good experience?

(それはよい経験でしたか。)

解説

■ How was ~? (~はどうでしたか。)

過去のできごとについて感想をたずねる表現です。過去のことをたずねるので、isではなくwasですね。How was the concert? (コンサートはどうだった?) や How were the final exams? (期末試験はどうだった?) のように使います。

● Did you enjoy the hot spring? (あなたは温泉を楽しみましたか。)

〈Did+主語+動詞?〉は、過去のできごとについて「…しましたか」とたずねる表現でしたね。Did youの下線部の発音を注意して聞きましょう。hot springは「温泉」という意味です。

I went to one in Iceland three years ago.

(私は3年前に、アイスランドでそれに行きました。)

このoneはa hot spring (温泉) を表しています。「~年前に」は~ years ago で表します。

Everyone wore nothing in the bath.

(みんなお風呂の中で何も身に着けていませんでした。) wore は wear の過去形です。wear は「~(洋服など)を着ている」という意味で、衣類を身に着けている状態を表します。nothing は「何も~ない」という意味です。didn't wear のように動詞を否定しているわけではありませんが、nothing という語を使うことで「何も身に着けていない」という否定の意味を表すことができます。

● Was that a good experience? (それはよい経験でしたか。)

〈Was / Were+主語+…?〉も「~は…でしたか」と過去のことについてたずねる表現でしたね。このthatは、エマが箱根の温泉で経験した一連のできごとを指しています。experienceは「経験」という意味です。

◯ コラム〜「恥ずかしい」を表す語〜

「恥ずかしい」は英語でshy、と思っている人がいるかもしれませんが、shyは性格について「恥ずかしがりの、内気な」という意味を表す語。だから、I was shy. は「私は(昔)恥ずかしがりやだった。」という意味になってしまいます。何かで失敗したり、人前でほめられたりして「恥ずかしく思う」ことを表すにはembarrassedを使いましょう。

I put buttons in the wrong buttonholes. I was **embarrassed**.

(私はボタンをかけ違えていました。恥ずかしかったです。)

Speak!



圭になったつもりで、エマと会話をしましょう。チャイムのあとで始めます。

Kei : How was your Golden Week holiday?

Emma: It was great. My father took us to a hot spring in Hakone.

Kei : That's nice! Did you enjoy the hot spring?

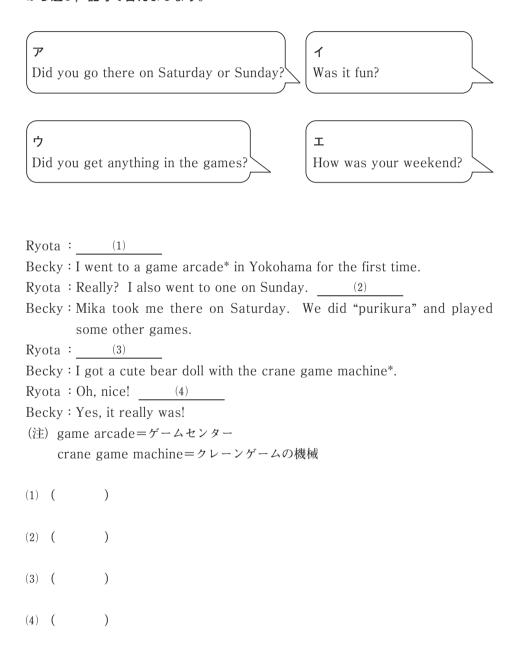
Emma: Well, I went to one in Iceland three years ago. At that time, everyone wore swimwear. But in Hakone, everyone wore nothing in the bath! I was embarrassed.

Kei : Ha-ha! That's a culture shock. Was that a good experience?

Emma: Yes, it really was. I want a hot spring in my home.

練習問題

良太とベッキーの次の会話が成り立つように、空所に最も適当な 1 文を次のア〜エから選び、記号で答えましょう。



解答・解説

解答

- (1) **_**
- (2)
- (3)
- (4) 1

解説

- (1) ベッキーが最初の発言で I went to a game arcade in Yokohama for the first time. (初めて横浜のゲームセンターに行ったの。) と言っていることから, 「週末はどうだったか」とたずねる文を選びます。
- (2) 直後にベッキーが Mika took me there on Saturday. (美香が土曜日に、私をそこへ連れていってくれたの。) と答えていることから、ベッキーが土曜日か日曜日のどちらにゲームセンターへ行ったのかをたずねる質問を選びます。どちらかをたずねる疑問文では、Did you go there on Saturday ク or Sunday ? という or の前後のイントネーションに注意しましょう。
- (3) 直後にベッキーがI got a cute bear doll (かわいいクマの人形を取ったわ) と言っていることから、何を取ったのかたずねる文を選びます。
- (4) 直後にベッキーがYes, it really was! (うん, とっても!) と答えていることから、YesやNoで答えられる、be動詞を使った形の質問を選びます。



Ryota: How was your weekend?

Becky: I went to a game arcade in Yokohama for the first time.

Ryota: Really? I also went to one on Sunday. Did you go there on Saturday or Sunday?

Becky: Mika took me there on Saturday. We did "purikura" and played some other games.

Ryota: Did you get anything in the games?

Becky: I got a cute bear doll with the crane game machine.

Ryota: Oh, nice! Was it fun? Becky: Yes, it really was! 訳

良太 : 週末はどうだった?

ベッキー:初めて横浜のゲームセンターに行ったの。

良太 : 本当に? ぼくも日曜日にゲームセンターに行ったんだ。きみは土曜

日にそこに行ったの?それとも日曜日?

ベッキー:美香が土曜日に、私をそこへ連れていってくれたの。「プリクラ」を

したり、いくつかほかのゲームをしたりしたわ。

良太 : ゲームで何か取ったの?

ベッキー:クレーンゲームの機械でかわいいクマの人形を取ったわ。

良太 :いいね! 楽しかった?

ベッキー:うん,とっても!

2 要点学習 不定詞の基本 要点 1



要点



主語・補語になる名詞用法の不定詞

〈to+動詞の原形〉を不定詞といいます。不定詞にはいろいろなはたらきがありますが、まず、名詞用法の不定詞が主語や補語になる場合について学習します。



To climb that mountain is very difficult. (あの山に登ることはとても難しいです。)

To study English is interesting. (英語を勉強することはおもしろいです。)

To read books is important. (本を読むことは大切です。)

Bill's dream is to become an astronaut. (ビルの夢は宇宙飛行士になることです。)

To climb that mountain is very difficult. (あの山に登ることはとても難しいです。)

この文にあるTo climbのように、〈to+動詞の原形〉の形をしている部分を不定詞といいます。toのあとのclimbは動詞ですが、〈to+動詞の原形〉の形にすることによって、動詞を動詞以外のはたらきをするものとして使うことができます。

a. 主語になる名詞用法の不定詞

上の例文で見たように,不定詞〈to+動詞の原形〉は,「…すること」という意味で,名詞と同じはたらきをすることがあります。名詞は文中で主語,補語,目的語になりますが,不定詞も同様に,文中で主語,補語,目的語になることができます。この不定詞の用法を名詞用法といいます。

まず、主語になる場合を見てみましょう。

English is very interesting. (英語はとてもおもしろいです。)

主語(名詞) 動詞 補語

To study English is very interesting. (英語を勉強することはとてもおもしろいです。) 主語 (不定詞) 動詞 補語

上の文ではEnglish(英語)という名詞が,下の文ではTo study English(英語を勉強すること)という不定詞が主語になっています。

注目

前の例文のTo study Englishでは、studyという動詞がEnglishという目的語をとっていますね。このように不定詞〈to+動詞の原形〉は、動詞の性質を持っているので、目的語や補語をとったり、修飾語句を伴ったりすることができます。それらを含めて、ひとまとまりで主語、補語、目的語のはたらきをすると考えましょう。

主語になる不定詞は**3人称単数扱い**をします。不定詞の目的語となる名詞が複数形でもbe動詞はis [was] になります。

To read books is important. (本を読むことは大切です。) **To collect stamps is** interesting. (切手を集めることはおもしろいです。)

b. 補語になる名詞用法の不定詞

名詞用法の不定詞は、「…すること」という意味で、補語になることができます。

Bill's cousin is an astronaut. (ビルのいとこは宇宙飛行士です。)

主語 動詞 補語(名詞)

Bill's dreamisto become an astronaut. (ビルの夢は宇宙飛行士になることです。)主語動詞補語 (不定詞)

上の文ではan astronaut(宇宙飛行士)という名詞が、下の文ではto become an astronaut(宇宙飛行士になること)という不定詞が、それぞれ補語になっています。〈主語+動詞+補語〉の文では、補語は主語を説明し、意味の上で〈主語=補語〉という関係が成り立つことを思い出しましょう。

確認

補語とは、主語や動詞だけでは文の意味が不完全な場合に、意味を補って文を完全なものとするはたらきをする語(句)のことです。補語になるのは、名詞、代名詞、形容詞などです。

ほかの例文で不定詞のはたらきを確認しておきましょう。

My wish is to be a professional baseball player.

(ぼくの願いは、プロ野球の選手になることです。)

▶未来のことについて「~になる」と言うときは、beがよく用いられます。

The important thing is to be kind to others.

(大切なことは、他人に親切にすることです。)

Our plan is to travel to Europe by sea.

(わたしたちの計画は、ヨーロッパへ船旅をすることです。)

POINT

- 不定詞〈to+動詞の原形〉は「…すること」という意味を表し、名詞と同じはたらきをすることがある(名詞用法)。
- 名詞用法の不定詞は主語や補語のはたらきをすることがある。

例題

次の日本文の意味を表すように、空所に最も適当な語を一語ずつ入れ、全文を書きなさい。

(1)	野菜を育てることは興味深いことです。 () grow vegetables () interesting.
(2)	大切なことは他人の話をよく聞くことです。 The important thing is () to others carefully.
(3)	正直でいることは時として難しいことがあります。 ()()honest is sometimes difficult.
(4)	わたしの今年の計画は1週間に1冊本を読むことです。 My plan for this year () () read one book a week.



動詞の目的語になる名詞用法の不定詞

名詞用法の不定詞が動詞の目的語になる場合について学習しましょう。



I want to go fishing this afternoon. (わたしは今日の午後, 魚つりに行きたいです。)

My mother began to learn Chinese.

(母は中国語を習い始めました。)

Tom likes to ski in winter.

(トムは冬にスキーをすることが好きです。)

「わたしは今日の午後、<u>魚つりに行きたい</u>です。」のように、「…したい」と言うときには、次のように〈want to+動詞の原形〉を使って表すことができます。この表現はすでに使ったことがありますね。

I want to go fishing this afternoon. (わたしは今日の午後, 魚つりに行きたいです。)

上の文の〈to+動詞の原形〉も、名詞用法の不定詞です。そのため、**名詞と同じように、**want、begin、likeなどの**動詞の目的語**になることができるのです。

I want **a new bike**. (わたしは新しい自転車が欲しいです。)

主語 動詞 目的語(名詞)

I want **to buy a new bike**. (わたしは新しい自転車を買いたいです。)

主語 動詞 目的語(不定詞)

確認

目的語とは、動詞が表す動作の対象となる語(句)です。日本文の「~を〔に〕…する」の「~を〔に〕」に当たり、名詞(相当語句)が目的語になります。

名詞用法の不定詞は「**…すること**」が基本の意味です。しかし,英文を訳すときは自然な日本語になるように,以下のように工夫する必要があります。

want to ···	…したい (と思う)
begin to ···	…し始める
like to ···	…するのが好きだ
love to ···	…するのが大好きだ
need to ···	…する必要がある
learn to ···	(学んで) …するようになる;…できるようになる
decide to ···	…することを決める;…する決心をする
try to ···	…しようとする

My mother began to learn Chinese. (母は中国語を習い始めました。)

Tom likes to ski in winter. (トムは冬にスキーをすることが好きです。)

Girls **love to talk** about their friends. (女の子たちは友達について話すのが大好きです。)

You need to hurry, Dad. (お父さん, 急がないといけないよ。)

John learned to write the alphabet.

(ジョンはアルファベットが書けるようになりました。)

She **decided to buy** a new car. (彼女は新車を買うことに決めました。)

He **tried to solve** the problem. (彼はその問題を解こうとしました。)

注目

文の中心となる動詞は、主語や時制によって形を変える必要があります。しかし、不定詞ではtoの後ろにくる動詞はつねに原形で用い、どのような場合でも形は変わりません。

 \langle would like to+動詞の原形 \rangle は、want toよりもていねいな表現として用いられます。この \langle to+動詞の原形 \rangle も名詞用法の不定詞です。

I would like to buy that watch. (わたしはあの時計を買いたいのですが。)

POINT

■ 名詞用法の不定詞は, want, begin, like, try, need, learn, love などの動詞の目的語になることがある。

例題

次0)日本文の意味を表すように,空所に最も適当な語を一語ずつ入れ,全文を書きなさい。
(1)	わたしは将来,ベトナムへ行きたいと思っています。
	I want () () to Vietnam in the future.
(2)	アンは今年の夏、泳げるようになりました。
	Anne learned () () this summer.
(3)	ケンとトムは野球をするのが大好きです。
	Ken and Tom () () play baseball very much.



副詞用法の不定詞

副詞と同じはたらきをする、副詞用法の不定詞について学習します。



We went to the park to play badminton.

(わたしたちはバドミントンをするために公園へ行きました。)

She bought some apples to make pies.

(彼女はパイを作るためにりんごを何個か買いました。)

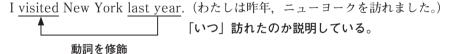
「バドミントンをするために公園へ行きました。」のように、「…するために」という動作の **'目的'** を表すときに、不定詞**〈to+動詞の原形〉**の形を使うことができます。

We went to the park to play badminton.

(わたしたちはバドミントンをするために公園へ行きました。)

この不定詞は、動詞を修飾するので、**副詞と同じはたらき**をしています。この不定詞の用法 を、<mark>副詞用法</mark>といいます。

次の2つの文を比べて、不定詞のはたらきを考えてみましょう。



I <u>visited</u> New York <u>to see my uncle</u>. (わたしはおじに会うためにニューヨークを訪れました。)
「何のために」訪れたのか説明している。

動詞を修飾

ちょっとくわしく 副詞(句)

2語以上の単語が集まって、全体で1つの副詞と同じようなはたらきをするものを副詞句といいます。副詞句は動詞、形容詞、副詞や文全体などを修飾します。上の2つの例文の、last year, to see my uncleはいずれも副詞句です。

不定詞は動詞の性質を持っているので、**目的語や補語をとったり、修飾語句を伴ったりする** ことができます。これは副詞用法の場合も同じです。 She bought some apples to make pies.

(彼女はパイを作るためにりんごを何個か買いました。)

John worked hard every day to be rich.

(ジョンは金持ちになるために毎日一生懸命働きました。)

I stood up to look at the picture carefully.

(わたしはその絵をじっくり見るために立ち上がりました。)

副詞用法の不定詞は、動作の目的を強めたり、はっきりさせたりするために、文頭に置くこともあります。

To realize your dream, you must try very hard.

(夢を実現するために、懸命に努力しなければなりません。)

▶副詞用法の不定詞を文頭に置くときには、不定詞句の後ろにコンマを付けます。

Why …?とたずねられて、「…するためです」と目的を答えるときにも、副詞用法の不定詞を使うことができます。

Why did you go to the airport? — To meet Mike.

「なぜあなたは空港へ行ったのですか。」「マイクを出迎えるためです。」

うちょっとくわしく 感情の原因や理由を表す副詞用法の不定詞

副詞用法の不定詞には、gladやsorryなど感情を表す形容詞の後ろにきて、「…して」の意味で感情の原因や理由を表す場合もあります。

I am glad to see you. (お会いできてうれしいです。)

I am very sorry to hear that. (それを聞いてとても気の毒に思います。)

POINT

■ 〈to +動詞の原形〉は「…するために」という意味で、動作の'目的'を表すことがある (副詞用法)。

例題

次の	日本文の意味を表すように,空所に最も適当な語を一語ずつ入れ,全文を書きなさい。
(1)	ジムはカメラを買うためにお金を貯めています。
	Jim is saving money () () a camera.
(2)	わたしは読書感想文を書くためにその本を何度も読みました。
	I read the book many times () () a book report.

$M \cdot E \cdot M \cdot O$

解答

主語・補語になる名詞用法の不定詞



- (1) To grow vegetables is interesting.
- (2) The important thing is to listen to others carefully.
- (3) To be honest is sometimes difficult.
- (4) My plan for this year is to read one book a week.

動詞の目的語になる名詞用法の不定詞



- (1) I want to go to Vietnam in the future.
- (2) Anne learned to swim this summer.
- (3) Ken and Tom like to play baseball very much.

副詞用法の不定詞



- (1) Jim is saving money to buy (get) a camera.
- (2) I read the book many times to write a book report.

$M \cdot E \cdot M \cdot O$

4応用学習 不定詞の基本英文法トレーニング



1 次の日本文の意味を表すように、空所に最も適当な語を 1 語ずつ入れなさい。

(1) 「なぜあなたは ((か。」「ケーキを作るためで eed butter? —(です。 」)
(2) わたしはその知 I was (news.	田らせを聞いて悲しか _?)(ったです。)() the
(3) わたしは何か沿 I want((昰かい飲み物が欲しいで) ().) ()
	か一緒に英語を勉強する ve anyone () (る人がいますか。) ()?)
(5) 1日10個の英 ((単語を覚えることが必)()necessary.		sh words a day
(6) 午前中に雨が降 (the morning.	条り始めました。) () () rain in
(7) トム, あなたの Tom, your job the dishes.)仕事は食器洗いです。 ()	()()

2	」 次の2又が表す内容を1又にまとめるよう、空所に適当な語句を入れて英又を 完成させなさい。
(1)	Why did Ken go to China? — To study Chinese history. → Ken went to China [].
(2)	I bought some books. I'm going to read them during the trip. → I bought some books [].
(3)	I want a bag. I'm going to carry my lunch box in it. → I want a bag [].

3	」 次の日本文の意味を表すように、カッコ内の語を並べ換えて英文を完成させ、 全文を書きなさい。
(1)	わたしは, 次回の会合について伝えるためにメアリーに電話しました。 I (Mary / tell / to / called) her about the next meeting.
(2)	この問題について考える時間が少し必要です。 We (about / need / think / some time / to) this problem.
(3)	図書館に本を借りに行きましょう。 Let's (borrow / the library / to / to / go) some books.
(4)	ミカの夢は医師としてアフリカで働くことです。 Mika's (is / in / work / to / dream) Africa as a doctor.
(5)	その少年は自分の犬と一緒にいて幸せでした。 The boy (be / happy / his dog / was / to / with).

	なりたいもの:音楽の先生		
	夏休みの計画 :音楽の先生に会って、インタビューをする		
(1)	Yuri (4語) music.		
(2)	"〔 5語 〕" is Yuri's favorite saying.		
(3)	Yuri〔 5語 〕teacher.		
	Yuri's plan for the summer vacation〔 3 語 〕he or an interview.	r music	teacher

4 次はユリにたずねたアンケートのメモです。この内容を参考にして、下の英文中の空所に指示された語数の語句を入れ、英文を完成させなさい。下線部全文を

書くこと。

好きなこと :音楽を聴くこと

好きな言葉 :「見ることは信じること」

5 次の文が成り立つように、カッコ内の語句を並べ換えて英文を完成させ、下線 部全文を書きなさい。
(1) "Mother! It's already* seven forty. <u>(for / don't / late / want / I / to / school / be)</u> . Please drive me to school right now." (注) already = もう
(2) My brother works in a hamburger shop. This week, it is going to move to a faraway* town. (look for / job / he / a / needs / new / to). (注) faraway = 遠い
(3) I work in a kindergarten*. <u>(care of / small children / very hard / take / to / is) for me.</u> But I like them very much. (注)kindergarten= 幼稚園

解答



(1) Why do you need butter? — To make a cake.

解説 「なぜ…」と理由をたずねる疑問文には、「…するため」と副詞用法の不定詞で 答えます。



(2) I was sad to hear the news.



(3) I want something hot to drink.

解説 「飲み物」はsomething to drinkで表し, somethingに形容詞が付く場合は 〈-thing + 形容詞 + 不定詞〉の順になります。



(4) Do you have anyone to study English with?

廨説 「~と一緒に英語を勉強する」はstudy English with ~なので, 「英語を一緒に 勉強する」が「人〔だれか〕」を修飾する不定詞になる場合も前置詞 with が必要で す。



(5) To learn ten English words a day is necessary.

懈認 necessary は「必要な」という意味の形容詞で、be動詞が必要です。主語を名 詞用法の不定詞にします。



(6) It began (started) to rain in the morning.

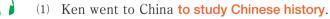


(7) Tom, your job is to wash (do) the dishes.

| 解説| 「~を洗う | は動詞 wash で表しますが、do the dishesで「皿洗いをする | とい う決まった表現になります。



2



<u>懈認</u> 目的を表す副詞用法の不定詞を使って、「中国の歴史を勉強するために中国に 行った」という文にします。

駅 ケンは中国の歴史を勉強するために中国に行きました。



(2) I bought some books to read during the trip.

| 解説| 「旅行中に読むための本 | とします。形容詞用法の不定詞です。元の文のthem が、書き換えた文では必要ないことに注意しましょう。

訳 わたしは旅行中に読むための本を買いました。



(3) I want a bag to carry my lunch box in.

解説 「お弁当箱を入れて持ち運ぶためのかばん」とします。形容詞用法の不定詞で す。元の文の最後のit = a bagで, carry my lunch box in a bag という関係な ので、a bagと carry my lunch box をつなぐ in があります。

配 わたしはお弁当箱を入れて持ち運ぶかばんが欲しいです。



3

(1) I called Mary to tell her about the next meeting.

解説 目的を表す副詞用法です。



(2) We need some time to think about this problem.

解説 形容詞用法です。



(3) Let's go to the library to borrow some books.



(4) Mika's dream is to work in Africa as a doctor.

解説 補語になる名詞用法の不定詞です。



16

(5) The boy was happy to be with his dog.

解説 感情の原因を表す副詞用法の不定詞です。



(1) Yuri likes to listen to music.

訳 ユリは音楽を聴くのが好きです。



(2) "To see is to believe" is Yuri's favorite saying.

解説 ""の中は、To see が主語、to believe が補語の名詞用法の不定詞です。

・同見ることは信じること〔百聞は一見に如かず〕」はユリの好きな言葉〔格言〕です。



(3) Yuri wants to be [become] a music teacher.

訳 ユリは音楽の先生になりたいと思っています。



- (4) Yuri's plan for the summer vacation is to meet her music teacher for an interview.
 - 記 ユリの夏休みの予定はインタビューのために音楽の先生に会うことです。





(1) I don't want to be late for school.

解説 I don't want to …で「わたしは…したくない」の意味を表します。be late for ~で「~に遅れる」, right nowで「今すぐ;直ちに」の意味です。

訳 「お母さん。もう7時40分よ。わたしは学校に遅れたくないの。今すぐ車で学校に送って。」



(2) He needs to look for a new job.

解説 need to …で「…する必要がある」の意味です。look for ~で「~を探す」の意味を表します。

記 兄はハンバーガーショップで働いています。今週、そのお店は遠くの街に移転する事になっています。兄は新しい仕事を探す必要があります。



(3) To take care of small children is very hard for me.

解記 take care of ~で「~の世話をする」の意味を表します。To takeから childrenまでが主語です。

! わたしは幼稚園で働いています。小さい子供たちの世話をすることは、わたしにとってとてもたいへんです。でも、わたしは彼らが大好きです。

5

応用学習不定詞の基本

読解演習1



1 リカは日本の学校に留学中のジミーにインタビューしています。リカのメモを参考に、空所に指示された語数の語句を入れて英文を完成させなさい。

Rika : Jimmy, why are you learning Japanese? Jimmy: (1) [4語] Japanese. Rika : (2) [6語] in the future? Jimmy: A translator or a librarian. Rika : What are you going to do during the summer holidays? Jimmy: I'm going to visit Kyoto and Nara (3) [4語]. 日本語を勉強する理由 日本語で本を読むため 将来なりたいもの 翻訳家か図書館司書 夏休みの予定 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く (1)	_		
Jimmy: I'm going to visit Kyoto and Nara (3) (4語). 日本語を勉強する理由 日本語で本を読むため 将来なりたいもの 翻訳家か図書館司書 夏休みの予定 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く		$\begin{array}{l} \text{Jimmy:}_{(1)}(\\ \text{Rika} :_{(2)}(\end{array}$	4語 〕Japanese. 6語 〕in the future?
Jimmy: I'm going to visit Kyoto and Nara (3) (4語). 日本語を勉強する理由 日本語で本を読むため 将来なりたいもの 翻訳家か図書館司書 夏休みの予定 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く	5	Rika : What	are you going to do during the summer holidays?
日本語で本を読むため 将来なりたいもの 翻訳家か図書館司書 夏休みの予定 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く (1) (2)			
将来なりたいもの 翻訳家か図書館司書 夏休みの予定 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く			日本語を勉強する理由
翻訳家か図書館司書 夏休みの予定 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く (1)			日本語で本を読むため
夏休みの予定 日本史を勉強するために京都と奈良へ行く (1) (2)			将来なりたいもの
日本史を勉強するために京都と奈良へ行く (1) (2)			翻訳家か図書館司書
(1)			夏休みの予定
(2)			日本史を勉強するために京都と奈良へ行く
(2)		'	
(2)			
	(]	1)	
	(5	2)	
(3)	(-		
	(3	3)	

)

2 次の英文を読んで、あとの問いに答えなさい。

My name is Andrew Cole. I am a university student in England and last year I visited France. Before I left, my mother bought me a new guidebook*. It was very interesting. A lot of useful* maps were in the book. My mother asked me, "Are you going to visit Paris?" "Yes," I answered. "I want to go up the Eiffel Tower*."

- (注) guidebook = ガイドブック useful = 役に立つthe Eiffel Tower = エッフェル塔 street corner = 街角
- (1) 下線部①の具体的な内容を最も適切に表しているものを次の中から1つ選び,記号で答えなさい。
 - ア エッフェル塔への行き方を教えてもらうこと
 - イ どこの国から来たのか教えてもらうこと
 - ウ エッフェル塔に登る手伝いをしてもらうこと
 - エ ガイドブックを貸してもらうこと

(2) 下線部②を日本語に直しなさい。

- (3) 下線部③について、なぜ男性が笑ったのか、理由を日本語で説明しなさい。
- (4) 次の質問に英語で答えなさい。ただし、Toで文を始めること。 Why did Andrew speak to the man?

解答



1

- (1) To read books in
- (2) What do you want to be [become]
- (3) to study Japanese history

解説

- (1) Why …? の質問に To … (…するためです) と不定詞を用いて答えます。「~の言語で」は〈in + 言語名〉で表します。
- (2) ジミーは職業名を答えているので「将来何になりたいのですか」とたずねていると考えましょう。
- (3) 最後のメモの「…するために」を、'目的'を表す不定詞で表します。

訳

リカ : ジミー, あなたはなぜ日本語を勉強しているのですか。

ジミー : 日本語で本を読むためです。 リカ : 将来は何になりたいですか。 ジミー : 翻訳家か図書館司書です。

リカ: 夏休みの間は何をするつもりですか。

ジミー:日本史を勉強するために、京都と奈良を訪ねる予定です。



2

- (1) ア
- (2) わたしはエッフェル塔に登るためにここパリにいるのです[パリに来ました]。
- (3) 自分がたずねようと思っていたことを逆に相手にたずねられたから。
- (4) To ask him for help.

解説

- (1) 下線部①を含む文は「彼は親切そうに見えたので、わたしは彼に助けを求めることにしました。」という意味です。askはここでは「たずねる」ではなく、「求める」という意味で、ask him for helpで「彼に助けを求める」となります。アンドリューはパリでエッフェル塔に登ろうと思っていましたが、ガイドブックをなくしてしまいました。それで街角に立っていた男性に How can I get there (= to the Eiffel Tower)? とたずねたのですから、help (手助け)とは、アの「エッフェル塔への行き方を教えてもらうこと」ということになります。これが正解です。
- (2) I'm here は「わたしはここにいる」という意味です。in Paris はhere に説明を加えたもので、here in Parisで「ここパリに」という意味です。次のto go up は不定詞です。これは「…するために」という意味を表し、to go up the Eiffel Towerで「エッフェル塔に登るために」という意味です。したがって、全文は、「わたしはエッフェル塔に登るためにここパリにいるのです。」となります。
- (3) 下線部③は「その男性は笑いました。」という意味です。アンドリューはそのあとでWhy are you laughing? (あなたはなぜ笑っているのですか。) とたずね, 男性は I wanted to ask you the same question. (わたしはあなたに同じ質問をしたいと思っていたのです。) と答えています。 the same questionというのは, アンドリューがこの男性にした質問 How can I get there? を指します。「自分も相手にたずねようと思っていたことを, 逆に相手からたずねられたから。」のようにまとめるとよいでしょう。
- (4) 質問は「なぜアンドリューは男性に話しかけたのですか。」という意味です。本文 $7 \sim 8$ 行目に I decided to ask him for help (わたしは彼に助けを求めることにしました) とあります。助けを求めて話しかけたのですね。 To で文を始めるよう指示があるので,To ask him for help. (その男性 [彼] に助けを求めるため。) とします。

重要語句

- How can I …? = どうすれば…できるでしょうか。
- 〇 iust like $\sim = 5$ ょうど \sim と同じように

訳

ぼくの名前はアンドリュー・コールです。イギリスの大学生です。昨年フランスに行きました。出発する前に、母が新しいガイドブックを買ってくれました。とてもおもしろいものでした。その本の中には役に立つ地図がたくさんありました。母はぼくに「パリに行くつもりなの。」と聞いたので、ぼくは「うん。エッフェル塔に登りたいんだ。」と答えました。

パリで、ぼくはガイドブックをなくしてしまいました。街角に男の人がいるのが目に入りました。彼はぼくを見て、ほぼ笑みました。その人は親切そうに見えたので、その人に助けを求めることにしました。「すみませんが、あなたは英語を話しますか。」「はい。」とその人は答えました。「ぼくの名前はアンドリューといいます。イギリスから来ました。ぼくはエッフェル塔に登るためにここパリにいるのですが、そこにはどうやって行ったらいいのでしょうか。教えてください。」するとその男性は笑いました。「どうして笑っているのですか。」とぼくはたずねました。「わたしもあなたに同じ質問をしたかったのです。わたしもイギリスから来て、そこに行きたいと思っているのですよ、ちょうどきみと同じようにね。」

$M \cdot E \cdot M \cdot O$

7 添削問題 1



※ここからは『Z Study 解答用紙編』の英語「不定詞」1枚目にご記入ください。

- 1 指示に従って、次の問いに答えなさい。 (配点 30)
- (1)~(2) カッコ内の指示に従ってそれぞれの英文を書き換えなさい。
 - (1) Tom wants to come with us. (疑問文に) (4点)
 - (2) Ann studies hard every day to become an astronaut. (過去の文に) (4点)
- (3)~(4) 次の日本文の意味を表すように、カッコ内の語句を並べ換えて英文を完成させ、全文を書きなさい。
 - (3) わたしの夢は空を飛ぶことです。(dream / fly / in / is / my / to / the sky). (5点)
 - (4) 彼は夏休み中に読む本を何冊か買いました。(books / bought / during / he / read / some / to) the summer vacation.(5点)
- (5)~(6) 次の日本文を英語に直しなさい。
 - (5) 明日わたしに電話するのを忘れないでね。 (6点)
 - (6) 彼はよいサッカー選手になるために、一生懸命練習しましたか。 (6点)

Yuka is a Japanese junior high school student. Now she's staying with a family in America during the summer vacation. Around eleven o'clock in the morning, Yuka's host mother said, "Yuka, can you help me? I'm very busy now." Yuka helped her, though* she didn't want to. She wanted to go out to play tennis. First, she washed the dishes. Yuka used a lot of water. Her host mother said, "Don't use so much water!" After that, 3 (helped / lunch / make / to / Yuka). Her host mother said, "Wash the vegetables, Yuka. Oh, no, you are using too much water again!" After half an hour lunch was ready. Her host mother said, "Thank you, Yuka. You were very helpful. Let's have lunch. After lunch, you can go out." Yuka finished her lunch very quickly. And she went out to play tennis with her friend. Yuka enjoyed the afternoon very much. She got thirsty and drank water. The taste of running water* was very bad so she (4) a bottle of water. When Yuka was back home, her host mother said to Yuka, "SI yelled* about the water this morning. I'm sorry. Water costs a lot in America. It's not like in Japan."

- (注) though = …だけれども running water = 水道水 yell = わめく; 金切り声をあげる
- (1) 下線部①のtoのあとには2語が省略されています。省略されている2語を書きなさい。 (4点)
- (2) 下線部②を日本語に直しなさい。 (6点)
- (3) 本文の流れに合うように、カッコ③内の語を並べ換えて英文を完成させ、下線部を書きなさい。 (4点)
- (4) 空所④に入れるのに最も適当な語を次の中から選び、記号で答えなさい。 (2点)ア used イ bought ウ tasted エ gave

- (5) ホストマザーが下線部⑤のような行動をとった理由を本文に沿って最も正しく説明しているものを次から選び、記号で答えなさい。 (4点)
 - ア 水を多く蛇口から出すと周りに散るから。
 - イ アメリカの水はあまり清潔ではないから。
 - ウ 水を使うとお金がかかるから。
 - エ ユカの仕事の手際が悪かったから。

禁無断転載

Z-KAI

この答案の添削有効期限は

※解答は、濃く、はっきりとご記入ください。

1/2枚目 CET2D1-S1D1



不定詞 添削問題1

(2)

1

CET2D1-S1C1 1

疑問文ですから、動詞の原形want としま

Does Tom wants to come with us?

Ann Studied hard every day to

become an astronaut.

「わたしの夢は」のほうを主語にしましょう。

He bought some books to read

during the summer vacation.

「~に電話をかける」はphoneですね。callも 「~に電話をかける」とほぼ同じ意味を表せます ので、あわせて覚えておきましょう。

tomorrow.

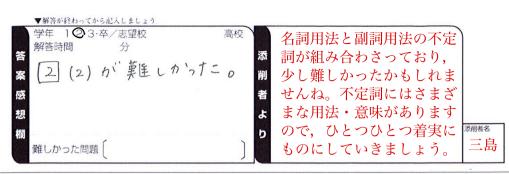
日本文は「わたしに電話をする」

不定詞のさまざまな用法について学習しました。疑問文でも否定文でも, |時制が過去であっても不定詞部分が〈to+動詞の原形〉であることに変わ りはありません。今回の問題文で、それぞれ不定詞部分が文中でどのよう な役割をしているか確認しておきましょう。

裏面につづく

(2)

10





2 CET2D1-S1C2

4 help her

to playは「…するために」という「目的」を表す不定詞の副詞用 法です。また、She wanted to go outは「彼女は外出したかった」 という意味です。

100 1成中はタトでデニスをしたかった。

テニスをするために外出したかった

4 (31) Yuka helped to make lunch

2 (4)

「けさ水のことでわめいた」ことの理由はI'm sorry. のあとにあります。water costs a lotを表したウが正解です。costは「(金額・費用)がかかる」という意味です。



日本とアメリカの生活では違うところがたくさんありますが、水についても大きな違いがあるのですね。今回の英文には「…してくれますか」「…しないでください」「…しましょう」など相手に依頼・要求する表現がたくさん出てきました。合わせて確認しておきましょう。